

平成 26 年 5 月 13 日

各 位

会社名 日本山村硝子株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山村 幸治  
(コード：5210 東証・大証第一部)  
問合せ先 環境室長 鳥居 豊彦  
(TEL 06-4300-6000)

### ガラス溶解炉排ガスの NO<sub>x</sub> 低減技術開発に関するお知らせ

当社は、大阪府立大学大学院工学研究科機械系専攻の大久保雅章教授らのグループと共同で、ガラス溶解炉排ガスのプラズマ複合処理による NO<sub>x</sub> 低減技術の開発に成功いたしましたので、お知らせいたします。

大阪府立大学で開発されたプラズマ複合排ガス NO<sub>x</sub> 低減技術は、既にボイラ等で実用化されておりますが、これをガラス溶解炉排ガスに適用するために共同研究を行い、当社のガラス溶解炉でテストを行った結果、約 40% の NO<sub>x</sub> 低減を達成いたしました。

この技術は、大気圧プラズマ処理装置を既存の湿式ならびに乾式排煙脱硫装置に組み合わせ、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、PM の同時低減を図ることができるため、一般的な SCR (選択触媒還元) 脱硝法と比較し設備投資や運転費用が低いことが特徴です。

昨今の世界的な環境問題に対する関心の高まりにより、アジアを含めた各国の環境負荷物質の排出規制は年々厳しくなっております。このような背景から、ガラス溶解炉においても同様に、環境負荷量低減に向けた対応が今後ますます求められてゆくと考えております。今後の展開として、世界中に多数存在するガラス溶解炉向け排ガス処理装置への適用を行ってまいります。

ご参考) 公立大学法人大阪府立大学ホームページ

<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/publicity/release/2014/pr20140513.html>

以 上